

ふくしの周る

発行／社会福祉法人 弟子屈町社会福祉協議会

弟子屈町中央2丁目10番25号 社会老人福祉センター内 (☎015-482-1054・FAX482-1236)

あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。旧年中は長期化するコロナ禍の中で社協会費や共同募金、歳末助け合いなど社会福祉協議会活動や地域福祉の向上に対しまして、格別なるご支援、ご協力を賜りましたこと厚くお礼を申し上げます。また、大変なご苦労をされている多くの町民の皆様には心からお見舞いを申し上げます。昨年をふり返りますとたび重なる緊急事態宣言により日常生活に大きな影響を受けた年でありました。特に不要不急の外出・移動の自粛や集会、イベント活動、行事などへの制約・制限は自治会活動を始め多くの地域活動が中止に追い込まれるなど、その影響が大きく反映されました。さらには、引きこもり生活など人



社会福祉法人 弟子屈町社会福祉協議会 会長 大友 泰雄



との接触の機会が減り、社会的な孤独や孤立の問題が深刻化しました。ワクチン接種が進み、今後の日常生活がどのように変わっていくのか、安心して暮らすため政府には納得感のある方向性を示して頂きたいと思っています。

一方、本社協といたしましては、孤独・孤立の解消に向けて、問題を抱え込まないように、あるいは問題を抱え込んだでも解決・改善できるような相談窓口の充実に取り組んでまいります。

また、緊急に生活支援を必要とする方に対しても、道社協との連携により引き続き迅速な対応に努めてまいります。

さて、本町の人口は7,000人を割るなど減少とともに、高齢化も進んでいます。3年後の令和7年(2025年)における推計人口は6,500人ほどで、そのうち65歳以上は、約2,800人、老年人口比率は約43%、人口の2.3人に1人、また、75歳以上は約1,690人、人口の約26%、38人に1人となっています。今後、65歳以上の人口は減少に転じるものの、75歳以上は、団塊の世代が令和7年(2025年)に75歳以上となることから増加傾向が続く令和12年(2030年)には約1,700人とピークを迎えるものと推計されています。このような人口減少、超高齢化による介護サービス等の需要の増加、さらには、核家族化による高齢者のひとり暮らし、高齢者のみの世帯の増加による介護、通院、買い物など地域で生活する上での多様なニーズが増えてまいります。そのような生活課題に対して、地域住民を中心としたさまざまな主体による支え合い活動がますます重要になってまいります。お互いさまの支え合いで、いつまでも安心して暮らせるまちづくりを進めることがいま正に求められています。

全国社会福祉協議会の地域福祉の定義として「地域福祉とは、それぞれの地域において人びとが安心して暮らせるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方」となっています。

町民の皆様がこの地域でいつまでも安心して暮らせるよう、役員一丸となってより信頼される組織づくりを目指すとともに、町民の皆様や町行政等の関係機関との協働や連携を深め地域課題の解決に向け一層努力してまいりますので、今後とも社協事業に対しましてご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆様方にとって幸多き素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げます。いさつといたします。

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金を受けて発行しています。



中間報告

てしかが町をよくするしくみ

たくさんの方々にご協力を頂き、12月6日までに集められた募金は次のとおりです。

赤い羽根共同募金

837,553円 (目標額 / 1,200,000円)

歳末たすけあい運動

165,000円 (目標額 / 400,000円)



「歳末たすけあい運動」募金は、民生委員の方にご協力を頂き、事前に申請された「ひとり親世帯」「在宅で家族が介護をされている世帯」へ年末にお見舞い金として贈呈いたしました。

ご支援・ご協力どうもありがとうございました。



最近は寒さが
厳しい…
少しでも温かく
していきたい!



**足元から
ほっこりしませんか?**

岸里美智子様より
いただきました。
ありがとうございます!

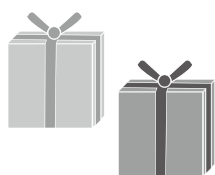
冷えたあなたの素足もほっこりする、毛糸の靴下はいりませんか?

福祉センターに寄贈のあった手編みの靴下を、

希望される方へ無料でお譲りしています!

必要な方は、社会福祉協議会窓口までお立ち寄りください。

※数量や色、サイズには限りがありますので、ご了承ください。



ボランティアセンターだより

第35回

みちくさ ふれあいサロン

11月19日(金)、待合室「みちくさ」で、湯元親交会女性部の方6名をお招きして第35回「ふれあいサロン」が行われました。

新型コロナウイルスの影響で今年度初めての開催となりましたが、三密を避け軽いゲームや紙芝居の読み聞かせなどを行い、とても楽しい時間を過ごしました。



▲十二支ビンゴで盛り上がる参加者たち



地域食堂 月1回開催 ～キッチン・みちくさ～

11月27日開催のキッチン・みちくさは、弟子屈高校のクッキング部の生徒さんたちが調理や配膳、子どもたちとの遊び相手などのお手伝いで協力していただきました。



▲高校生が素敵な絵を書いてくれました。



活動に賛同・
ご協力して頂ける方は、
待合室「みちくさ」まで
ご連絡ください。



▲高校生の皆さんに子どもたちも
たくさん遊んでもらいました。

**キッチン・みちくさでは、
様々な形で皆様にご協力をいただいております。**

寄附

子ども食堂（地域食堂）の活動資金を寄付する。

食材提供

食材の寄附を受け付けております。

スタッフ協力

調理・配膳、子どもたちの遊び相手などのお手伝い。

◆お問い合わせ先◆ 待合室「みちくさ」 TEL482-2858



ボランティアセンター 掲示板

お休みのお知らせ

待合室
みちくさ
令和3年12月28日(火)
～令和4年1月10日(月)

おしるこ ウィーク開催!



1月11日(火)より今年もお供え餅を使ったお汁粉ウィークを一週間、開催します。

皆さん、ぜひお立ち寄りください

※お餅が無くなり次第、終了になりますので、お早めにお越しください。

スマホ 学習会開催!



令和3年11月22日(月)、ボランティアセンター主催で弟子屈町社会福祉協議会の佐藤康弘係長を講師に、スマートフォンの初心者向け学習会を行いました。今やほとんどの人がスマートフォンを持つ時代になりましたが、その一方でどう操作すればいいのかわからないシニア層の方がいるのも事実です。

今回は、待合室「みちくさ」の会員を対象に Wi-Fi の接続方法やグループラインの作成方法などを学びました。

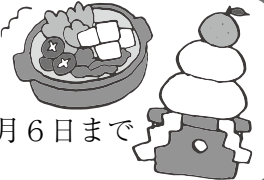
デジタル技術を地域の新たなつながりづくりに活用できるように、今後も継続して開催して行きます。



収集ボランティア活動報告

弟子屈町社会福祉協議会預かり分
ボランティアセンター預かり分

令和3年9月10日～12月6日まで



◆エコキャップ◆
阿部 恵子 様
摩周厚生病院 様
野村 ミツ子 様
川湯の森病院 様
石橋 和美 様
後藤 幸子 様
林 紀元 様
江口 裕子 様
特別養護
老人ホーム摩周 様
高橋 由美子 様
小崎 和男 様
一ノ戸 サツ子 様
羽石 敏子 様
坪井 長治 様
札木 正治 様
中澤牧場 様
中村 勢津子 様

大友 れい子 様
佐々木 捷子 様
ケアサポート
まつやま 様
古瀬 駿 様
古瀬 らむ 様
古瀬 マミ 様
矢野 良洋 様
金川 真子 様
金川 真千 様
旭町自治会婦人部 様
東洋実業 様
五十嵐 美枝子 様
ニコニコクラブ 様
セイコマート
やまな店 様
セイコマート
川湯店 様
GHあったか家 様

若松 一恵 様
◆リングプル◆
野村 ミツ子 様
川湯の森病院 様
石橋 和美 様
後藤 幸子 様
林 紀元 様
江口 裕子 様
小崎 和男 様
一ノ戸 サツ子 様
羽石 敏子 様
佐々木 捷子 様
旭町自治会婦人部 様
矢野 良洋 様
ホテル摩周 様
◆古切手◆
阿部 恵子 様
江口 裕子 様

小崎 和男 様
羽石 敏子 様
阿部 祐三 様
小川 知代子 様
二町内婦人部 様
◆ベルマーク◆
阿部 恵子 様
矢野 良洋 様
阿部 祐三 様
古瀬 マミ 様





あたたかい善意を ありがとうございます

去る10月22日(金)、「釧路地区郵便局長 夫人会 釧路北部会」様より、ボックスティッシュや古布を多数寄贈していただきました。

いただいた物品は、社会福祉協議会を通して必要とする方へ配らせていただきます。



「北海道コカ・コーラ ボトリング株式会社」様より、福祉施設へのクリスマスプレゼントとして、清涼飲料水を寄贈していただき、11月30日(火)に贈呈式が行われました。

寄贈された果実飲料やスポーツドリンクなどを含めた10ケースは、社会福祉協議会を通して町内の各福祉施設へ贈られました。



令和3年9月10日から令和3年12月8日までにお寄せいただいた「寄附金」・「寄贈品」を紹介します。

寄 附 金

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| ◆伊藤 廣和 様 | 20,000円 (お見舞いのお返しを廃して) |
| ◆西端 慎吾 様 | 30,000円 (亡母が生前お世話になったお礼として) |
| ◆弟子屈更生保護女性会 様 | 10,000円 (社会福祉のために役立ててください) |

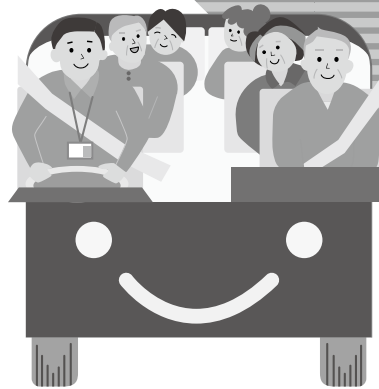
寄 贈 品

- | | |
|-----------|---|
| ◆石原 くに 様 | タオル・シーツ等 (必要としている方のために使ってください) |
| ◆岸里 美智子 様 | 手編みの靴下 35足
カバー 15足 (必要としている方のために使ってください) |

弟子屈町の福祉推進にご協力いただき、
どうもありがとうございました。



募集



【在宅福祉サービス事業の協力員】

弟子屈町社会福祉協議会が行っている在宅福祉サービス事業を推進するうえで
欠かせない、協力員を探しております。

移送サービス事業

65歳以上の疾病や高齢化により身体機能が低下している者で、家族等の送迎援助
が得られない事情を抱えているとともに、公共交通機関を利用して通院などが困難
な方に対して移送サービスを行っています。

協力員の仕事内容

移送車の運転。平日のみ。
利用者の自宅から病院間の送迎対応をお願いします。

移送の送迎地域

弟子屈町内の病院、釧路市内の病院
(釧路市への送迎対応協力員が不足しております)

募集人数
若干名

有償ボランティアでご協力いただける方がおりましたら、
下記の連絡先までご連絡ください。

お問い合わせ先

弟子屈町社会福祉協議会(福祉サービス係)まで ☎482-1054

社会福祉法人
弟子屈町社会福祉協議会

〒088-3211
弟子屈町中央2丁目10番25号
弟子屈町社会老人福祉センター内

TEL 015-482-1054
FAX 015-482-1236



社協の運営は、
皆様の温かい善意に
支えられています。
社会福祉協議会は、
行政や地域住民の皆
様に支えられ、誰も
が安心して暮らすこ
とができる福祉の町
づくりに取り組んで
います。
慶弔のお返しにか
えて、また結婚や出
産等を記念して、地
域福祉のご厚情をお
待ちしております。

ご意見ご感想をお寄せください(公式ホームページからも受け付けております。 <http://teshikaga-shakyo.jp>)